



生徒たちのひたむきな日常が光っています



10月26日（水）の美作市教育委員会指定 ICT 教育推進モデル校事業の授業研究会では、多くの先生方や保護者・地域の皆様のご参観をいただき、さまざまな ICT 機器を用いた授業を提案いたしました。タブレット端末を用いて意見を発表する生徒の様子を見ながら、子どもたちの可能性は無限だと思いました。これからも、生徒たちが学習に意欲をもって取り組み、確かな学力を定着させるために、授業の工夫を進めます。

後期生徒総会

10月28日（金）後期生徒総会を開催しました。本年度は、前期生徒会執行部が選挙の時に示した公約をどう実行したか、後期生徒会執行部が公約をどのように実現していくか、それぞれについて、総会資料に明記しました。勝田中学校の生徒会は、有言実行です。



1年生の学級P給食試食会です。親子で和気あいあい、ランチタイムです。

後期のクリーン作戦も実施しました。地域に貢献できる活動も工夫しながら、勝田中学校に活気を生み出している生徒会です。



11月4日（金）放課後、漢字検定を実施しました。『かつたっ子15の春プロジェクト』で、小学生も一緒に受験。かつたっ子の漢字力を高めます。

クラス発表会

11月9日(水) 13:30～
本校体育館でクラス発表会を開催

いたしました。生徒会執行部と文化委員会が実行委員となって、テーマ決定から準備・運営と生徒たちで創り上げた発表会です。

オープニングは、生徒会の発表です。まずは、「セルフコントロール My スマホ」。前期生徒会執行部から後期生徒会執行部へと『生徒が創る勝田中学校』『自信と誇りのもてる勝田中学校』づくりのバトンタッチが行われました。続いて、文化委員会の「ブックトーク」。昨年のビブリオバトルに続いて、今年はブックトークでおすすめ本を紹介しました。勝田中学校生徒の読書時間は、県や全国に比べて短いという調査結果が出ています。文化委員会では、生徒自らが読書する時間を増やせるように工夫を重ねています。学校の図書室でも県や美作市の図書館から本が借りられるシステムが整っています。生徒たちは、毎日10分間の朝読書でも集中して読書をしています。登校してすぐの教室で、とても静かなしっとりとした時間が流れています。



続いて、意見文発表。9月3日に各クラスで行った意見文発表会の学年代表が身近な生活の中からテーマを定め、自分がどう考え、どう行動していくかを訴えました。共生社会を実現するために、生徒たちはこれからも、様々な人権課題について正しい理解を深め、いろいろな人々と「共に生きる」ためにできることを考え、違いを認めあって生きる姿勢を身につけます。ご家庭でもお子さんとしっかりと対話していただき、生徒たちが社会生活に目を向け、健全なものの見方や考え方ができるよう、ご指導ご助言下さい。

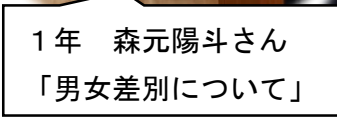
学年発表は、それぞれの創意工夫が見事に表現されていて、見応えのある内容になりました。

1年生は、10人という人数を全く感じさせない力強い発表でした。アルトリコーダーによる『歓喜の歌』。中学校での初チャレンジ全校合唱曲を歌だけでなく演奏でも披露するという、しゃれた演出でした。合唱では10人をソプラノ4人、テノール2人、バス3人、ピアノ1人というパートに分けて、見事に素晴らしいハーモニーを響かせました。

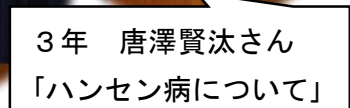
さらに、プロジェクターを活用した影絵では、おーなり由子さんの『ことばのかたち』の世界を表現。最後に10人が一人一人のメッセージを手話で観客に伝えました。



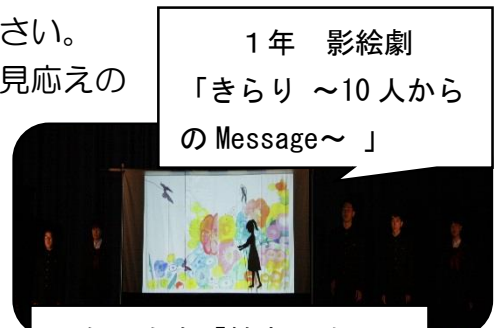
2年 坂元 新さん
「いじめについて」



1年 森元陽斗さん
「男女差別について」



3年 唐澤賢汰さん
「ハンセン病について」



1年 影絵劇
「きりり ～10人からの Message～」



1年 合奏「歓喜の歌」
合唱「果てない空」

クラス発表会のテーマもしっかりと伝わる 10 人の“きらり”。本校の 1 年生 10 人は決して少人数ではありません。けれど、一人一人が輝く、一人一人がつながる、大きな、そして力強い 10 人です。

2 年 合奏「Jupiter」
合唱「遙か」



2 年 劇
「心をつなぐ～一人の思
いをみんなの思いに～」

2 年生は、さすがのハーモニー女子のパートの美しく澄んだ歌声と男子の力強い歌声が見事に調和した、美しく完成度の高い合唱を披露しました。

「姥捨て山」をテーマに、年長者の知恵を大切にすることを訴え

ました。静かに、けれど心を込めて演ずる生徒たちの「ひたむき」な姿に胸を打たれました。若者の親への深い愛情と我が子を思う母の大きな愛情、そして経験を重ね、年を重ねて生きることの素晴らしさを観ているもの全てに伝えた劇でした。工夫して作った手作りの小道具も輝きを添えて、2 年生は、来年につながる新たな勝田中学校の文化を生みしました。

トリを務める 3 年生。
3 年間歌い続けた校歌を
リコーダーで演奏、母校
を大切に思う気持ちが、
会場全体に響きました。

3 年 合奏「校歌」
合唱「Best Friend」



3 年 創作発表
「和心～和と平和の奏～」

創作発表では、日常の生活の中で人権について考えたことを一人一人がビデオレターで発表。最後は、一人一人のメッセージボードがハートのリボンマークになるというステキな演出がなされていました。その後、竹を利用した太鼓の演奏。13 人が心と音をそろえて、見事にリズムを刻みました。3 年生が、後輩達に伝えた「勝田中学校の自信と誇り」を感じる発表でした。

各学年の創意工夫と努力の結晶が見事に伝わった学年発表。その感動を余韻に残しながら、ラストは学年合唱です。昨年、初チャレンジした勝田中学校組曲『ふるさと勝田～心の調べ～』と『歓喜の歌』。私たちは、これを新たな「かつたっ子の文化」として引き継いでいきます。1 年生は今年、新たに学び、2、3 年生は、さらによりよい合唱へと全員の心をこめて歌い上げ、少人数とは思えない力強い、けれど美しい合唱になりました。



展示の部も、日常の学校生活で取り組んだことがしっかりと文化となって伝わる、力のある作品でした。学校での人権学習を象徴した標語「いじめ」「スマホ」「人権課題」。1 年の「閑谷研修」、2 年の「職場体験」、3 年の「修学旅行」と、学年で行った行事の壁新聞。日々、こつこつと制作した美術・文芸部の作品集。美術で学習した個性がキラリと光る作品群。家庭科で製作した心がホッコリする手芸作品。技術で挿し芽を経験した菊花。まさに、文化そのものでした。

勝田保健センターで、交流会

11月18日（金）10:00から、3年生が介護予防教室「つくし会」に参加させていただきました。参加者の皆さんと一緒に介護予防体操で体をほぐし、休憩時間にはお話しさせていただきました。皆さんが温かく迎えてくださって、生徒たちも地域の皆さんとの交流を楽しく経験させていただくことができました。



普段は自分のおばあちゃんやおじいちゃん
としか話す機会がないけど、いろいろな方と
話すことができてよかったです。

11月24日（木）9:30から、1年生がワンコインカフェ「ふらっと」に参加させていただきました。参加者の皆さんと一緒にティータイムを楽しく過ごし、合唱やリコーダーの演奏を聞いていただきました。ご近所でお知り合いの方もおられ、子どもたちにやさしく声をかけていただき、中学生にとって勝田地域の「あったかさ」を共有する貴重なひとときになりました。

3学期には、2年生も一緒にできる時間がもてればと考えています。中学生になると、休日も部活動などで地域の方々と交流する時間が少なくなります。こんな機会をとらえて、いろいろな年齢の方々と過ごす時間を大切にしたいと思っています。地域の皆様、中学生がお訪ねしたときには、どうかよろしく願いいたします。



話す前まで、何を話せばいいのか
分からなかったけど、おばあちゃん
たちが話しかけてきてくれたので、
すごく楽しくお話しすることができ
ました。とっても楽しかったです。

各学年、人権学習を進めています



岡山県生涯学習センタ
ーから貸し出しをしてい
ただいた『聲の形』



1年生の障がい者・
高齢者疑似体験



2年生は「いじめの四層構造」
の図をもとに考えています。

12月の人権週間に向けて、各学年で『共に生きる』社会を実現するための学習を進めています。まずは、全学年『聲の形』というDVDを視聴しました。エスカレートしていく「いじめ」が逆にいじめた本人を孤立化させていく事例でした。「いじめ」の形はさまざま、一人一人の判断力や良心が大きな力になることを実感させる作品で、生徒たちそれぞれが深く考える機会を得ることができました。1年生は「障がい」について、2年生は「いじめ」の四層構造について、3年生は社会生活に存在するいろいろな「人権課題」について考えます。どの学年も、いろいろな人権課題を学習していますが、自分たちの身近な生活で人を思いやり、人と共に生きるために何ができるかを常に問い続けています。大切なのは実際に行動できる力です。ご家庭でも、誰もが共に生き、共に支え合う社会を作るために必要なことについて、お話し合い下さい。